

# 平成二十七年 施政方針

石垣市長 中山 義隆

## はじめに

「南(ばい)ぬ島(しま)石垣空港」が平成25年3月7日に開港してから、丸2年が経過し、昨年の本市への入域観光客数は初めて100万人の大台を突破し、約111万6千人と過去最高を記録しました。これは、「石垣市観光基本計画」において設定した目標を6年前倒ししての達成となります。これも観光業界をはじめ関係団体の皆様、そして、多くの市民の皆様の努力の賜物であると感謝しております。この好調の要因としては、一括交付金を活用した官民一体のプロモーション活動やメディア露出等が空港開港効果を高めていることと同時に、クルーズ船の定期的な寄港増が挙げられます。本年度もこの好調を維持するため、アジアゲートウェイの国際交流拠点都市として、石垣空港国際線施設を活用し、台湾、韓国、香港など東アジア圏域からのチャーター便就航並びに定期便化に積極的に取り組んでまいります。

そして、本市の重要施策として位置付け、取り組んでまいりましたゴルフ場建設につきましては、多くの市民が一

日も早い建設を望んでいることから、関係団体と連携し、これまで企業等が進めてきた取り組みを更に前進させるため、あらゆる可能性を検証し、行政としても積極的に協力し、実現してまいります。

これら観光振興に資する施策をしっかりと取り組むことにより、世界中から多くの人々が本市を訪れ、交流を通じて、国際交流拠点都市として、本市が世界平和にも貢献できるものと信じております。

「観光は平和へのパスポート」これは、1967年の国際観光年スローガンであります。

そして、本年は戦後70年の節目を迎えます。戦争を経験した方が高齢化していくなか、その記憶を風化させることがないよう、多くの市民に平和について考える機会を提供してまいります。また、戦争の教訓を次世代に語り継ぐため「八重山戦争マラリア犠牲者追悼式」並びに「石垣市全戦没者追悼式」並びに「石垣市全戦没者追悼式」を次世代である若い世代も一緒に開催してまいります。平和への思いを次世代にしっかりと

引き継ぐためにも、次世代を安心して育むことができる環境を整える必要があります。我が国では、少子化により人口が減少し、次世代の担い手に大きな危機感があります。政府は、50年後も人口1億人を維持するという目標を掲げております。本市の人口は幸い増加傾向にあります。しかしながら、近い将来には減少傾向に入るという統計もあります。このことから、減少に転じる前に、増加傾向にある今のうちに具体的な対策を講じる必要があります。そのためには、子育てをしやすい環境づくりが重要であると考えております。

家庭や地域での子育てにつきましては、本年度からスタートする「子ども・子育て支援新制度」の実施に向け、市民参画と協働による「石垣市子ども・子育て支援会議」の議論・提言等をいただき、向こう5ヶ年の「子ども・子育て支援事業計画」を策定致しました。本年度はその答申を踏まえ、新たに「子ども政策係」を設置し、来年度における公立幼稚園9園の幼稚園型認定こども園への移行並びに公立保育所1カ所の保育所型認定こども園への施設整備に取り組んでまいります。併せて、マニフェストにも掲げている待機児童ゼロに向け、着実に歩みを進めるため、新たな認可保育園の新設支援をはじめ、認可化移行の促進・支援

## 島の自然環境を守り活かす 「いいしがき」

これら施策を推進し、市民サービスを提供する場となるのが市役所です。築45年が経過した本庁舎につきましては、昨年度から基本計画の策定作業を進めており、主に建設位置が議論の焦点となっております。これにつきましては、市民意見を慎重かつ丁寧に積み上げ、将来のまちづくりを見据え、次の基本設計につなげてまいります。

### 1. 環境と風景

昨年は約111万6千人という多くの観光客を受け入れてまいりました。このことは、本市の発展と同時に、環境への負荷という側面も併せ持つてお

ります。環境への負荷低減のため、「石垣市エコアイランド構想」を基本として、昨年度は「石垣市海洋基本計画」と連動した波力発電の可能性を沖縄県と協力して取り組んでまいりました。同時に、昨年度に策定した「バイオマス利活用計画」に基づき、堆肥センターのフル活用に取り組み、堆肥センターのオマス資源を活用した液肥利用を推進するためのプラントを設置しました。本年度は、堆肥センターのフル活用を更に進め、メタン発酵による消化液の実証試験を実施することにより、資源循環の効率的な収集体制について検討してまいります。

また、美しく住みよい島を保つために、これまでも不法投棄防止対策及びボランティア清掃支援を「美化推進事業」として行ってきました。本年度は、市内の各小中学校において「石垣市における家庭ごみの現状」についての環境学習を実施することにより、次世代を引き継ぐ子ども達に対し、廃棄物の適正処理や不法投棄防止の意識啓発を図ってまいります。

これらエコアイランド構想の実践により保たれる豊かな自然環境は、多くの恵みを私達にもたらしてくれまます。その一つが水です。本市の水道水は、その恵みをもとに、各家庭・事業所などに安全でおいしい水を供給しており

ます。これも自然が生み出す本市の魅力であることから、多くの方々に知ってもらい、本市の自然環境保全に対する啓発を行ってまいります。近年、観光客が大幅に増え、それに伴い観光地としての開発が活発になっております。魅力ある風景・景観づくりの重要性が高まっていることから、本年度は、「石垣市風景計画」の成果や空港開港後の現状を検証するとともに、計画改訂に向けた検討を進めてまいります。

平久保地域には、サガリバナの大群落があり、開花シーズンには幻想的な風景を醸し出します。このサガリバナ大群落地域の適正な保護と利用を図るため、西表石垣国立公園への編入に向けた手続きが環境省において進められています。地域資源の保全・活用のため、地元自治体としても積極的に協力してまいります。

街なかの緑は生活空間を豊かにし、街を潤してくれます。また、亜熱帯特有の緑は観光客の目を楽ませることもできます。このことから、「フラワロード」や「花いっぱい」に関する事業を推進してまいりました。本年度も引き続き、道路や公園などの公共空間において、南国らしい熱帯花木で彩るなど緑化を推進してまいります。